

ことばやコミュニケーションの遅れ に対する理解と支援(後半)

岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター
リハビリテーション課
言語聴覚士 柴田 一浩

※令和5年度に動画配信した内容に一部再構成しています。
予めご了承ください。

今日の予定

- ことばとコミュニケーション発達の概要
ことばを獲得していくためには
- ことばとコミュニケーションの遅れに対する支援・援助について
 - ・支援について 環境 視覚支援 ことばかけ
 - ・発達の弱さをもつ子がどこでつまづきやすいか、
どう支援していくか

ことばやコミュニケーション への支援・援助

子どもの行動・視点からの出発

- どんな時に問題と思える行動をとるのか
- 何がわかって、何がわからないのか
- その子のできること、困難なことはなにか
- 保育者(療育者)がどのように関わった時にわかる・できる・満足する状態がうまれたか
- 良い顔をしているときはどんな時か
- 好きな遊びは何か

『図書6』より

* 保育者(療育者)が児の行動を深く観察する目が大切
具体的エピソード、いつ、どこで、誰と、誰に、どんな行動をとったか、結果どうなった

保育・療育の現場でできる配慮と援助

[集団への取り組み]

- ☆環境の構造化
- ☆視覚支援
- ☆ことばがけ
- 指示の明確化
- ☆クラスルール

[個別の取り組み]

- ★個々の発達課題
- ☆視覚支援
- ☆ことばがけ
- 短く箇条書き
- ☆スモールステップ
- 90%支援

5

保育のユニバーサル デザイン

- クラス全体の子どもがわかって、整理された行動がとれ、活動がなされている
⇒**集団の行動が対象児を支える**
- クラス集団の安定があって対象児が安定する**
- クラス集団の整理された行動が等身大モデル**となって対象児を支える

『図書6』より

6

具体的支援の3段構造

(分かりやすい保育・規律ある保育)

- ①整理された過ごしやすい環境
整理整頓・騒音・壁面構成

視覚支援

一日のスケジュール
当番の手順表……

ユニバーサルデザイン

適切な
環境の整え

クラスの全体
支援

- ②クラス全体の約束
活動の明確化…
集団力動の活用

個別の支援

- ③ 90%支援
(スモールステップ)

- ・成功体験
- ・加配による支援……

※対象児の発達状況等
によって割合は異なる

7

支援・手立ての一例

(保育のユニバーサルデザイン)

- * 刺激物を少なくする(クラス環境の構造化)
- * 注意を向けさせる(クラスルール)
例)「〇〇組さん」・「はい」・(大切な話をします)
- * 視覚的にわかりやすい提示の仕方をする(視覚支援)
例) 具体物・写真などを見せる、文字で書いて見せる、指を立てる
- * 名前を呼んだり、話す内容を予告してから話す(個別支援)
例) 「トイレに行きます、〇〇くんもね」
- * 簡素に、短いことばで話す(指示の工夫)

8

環境の構造化

いろんな物(刺激物)があると何処に注目していいかわからない



↓

選択的注意に配慮する



9

視覚支援グッズの活用

①給食は“何時まで”
おかわりは“何時まで”
それまでは
ゆっくり食べようね！



②1日のスケジュール



③姿勢を意識するためのグッズ
「せ・め・あ・て」



要所、要所で示すことがポイント！

④どうやり取りするの？視覚で示す



10

視覚支援 集団遊びのルールを 絵を使って説明



某保育園
(スタッフ支援)

11

ことばの指示の出し方の工夫

簡素に、短いことばで話す、話す内容を予告する

- 「〇〇組さん・・・はあい」(目のサイン/先生に注目させる)
- はい、静かにします、今から「こいのぼり」を作ります
- もってくる物は3つあります
- 1つ目は、はさみ
- 2つ目は、クレヨン
- 3つ目は、のり (具体物提示: 視覚支援)
- みんな、何もってくるのか、確認/復唱する
- まず、〇〇グループから持ってきてください
(対象児とは違う別のグループ)

12

大人は反応的にかかわる

- 大人側に子どもを合わせるのではなく
大人側が子どもの発達レベルに合わせて反応的にかかわる
- 子どもが何に興味・関心があるのか観察し読み取る
- 遊びやことばかけは、子どもの発達レベルやリズムに合わせる
- ことばかけ以外にも目を向ける
子どもの表情、動作、サイン(意図)を読みとり応じる
- 子どもの意図が成功するように援助する

『図書3』より

13

大人側の基本姿勢 “SOUL”

- S/Silence (沈黙)
- O/Observation (観察)
- U/Understanding (理解)
- L/Listening (聴く)



『図書3』より

子どもと関わる時には...

- ・ まずは 静かに見守り
- ・ 遊び方やコミュニケーションの仕方を観察し
- ・ 子どものありのままの姿を理解し
- ・ 子どものことばなど(発するサイン)に耳を傾ける

14

児がうまくできた その瞬間を大切に

■ まずはヨイショ!! (上昇表現)

「やった～ うま～い そお～ その調子
ピンポ～ン グー」
「おし～い もうちょっと (ブブー)」



程よいストレス
8割 ほめて 2割 さとす

■ 下降表現 (命令・指示・禁止・否定・疑問符形)

「○○しなさい! これ! だめ! 違う!
何でわからんの?! 何回言ったらわかるの?!」



※楽しいことばは真似やすい、下降表現は真似しない

15

言語心理学的技法

『図書3』より

ミラーリング	子どもの行動(動作)をそのまままねる
モニタリング	子どもの音声やことばをそのまままねる
パラレルトーク	子どもの行動や気持ちを言語化する
セルフトーク	大人の行動や気持ちを言語化する
リフレクティング	子どもの言い誤りを正しく言い直して聞かせる
エキスパンション	子どものことばを意味的、文法的に広げて返す
モデリング	子どもが使うべきことばのモデルを示す

16

16

どんな場面で 言語心理学的技法

ミラーリング	まだほとんど話すことのできない子 (児の意図を大人が解釈 ～10ヶ月頃)
モニタリング	「自分が何かをすると、大人が同じように返してくれる」 関係に気づく
パラレルトーク	話し始め、ことばに興味を持ち出した子
セルフトーク	「あなたとわたし」の 関係や共感性 を積極的に知らせていく
リフレクティング	ことばのやりとりができ始めた子
エキスパンション	発語意欲を高め、ことばの 広げ方、応答の仕方 や 会話の方法 を教える
モデリング	

17

17

発達遅滞＋話しことばの未獲得

18

発達の弱さがある子ども

①共感的コミュニケーションの弱さ

人に向かう姿勢が弱い 伝えようとしていない
(対人関係が希薄 三項関係が不成立)

②「手段－目的」関係の認知理解の弱さ

変化(結果)の受け止め

③模倣の弱さ

動作／音声／延滞模倣

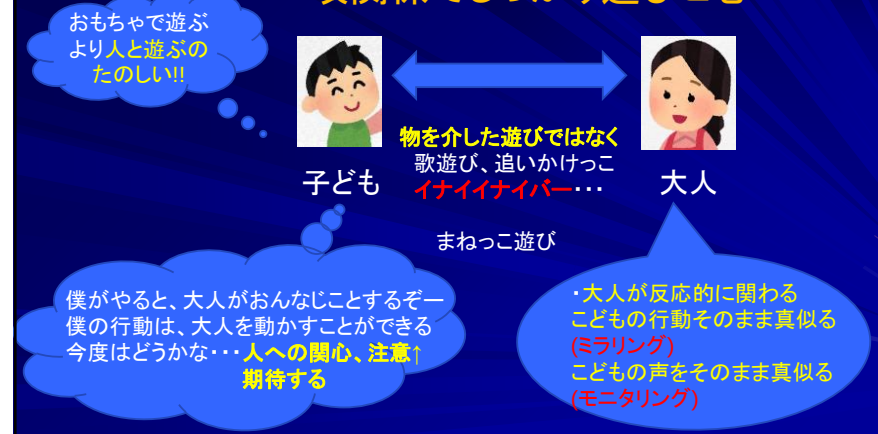
④意図的な伝達手段が弱い 手さし／指さし 要求＞叙述

⑤象徴機能(表象)の弱さ

遊びの広がり弱さ

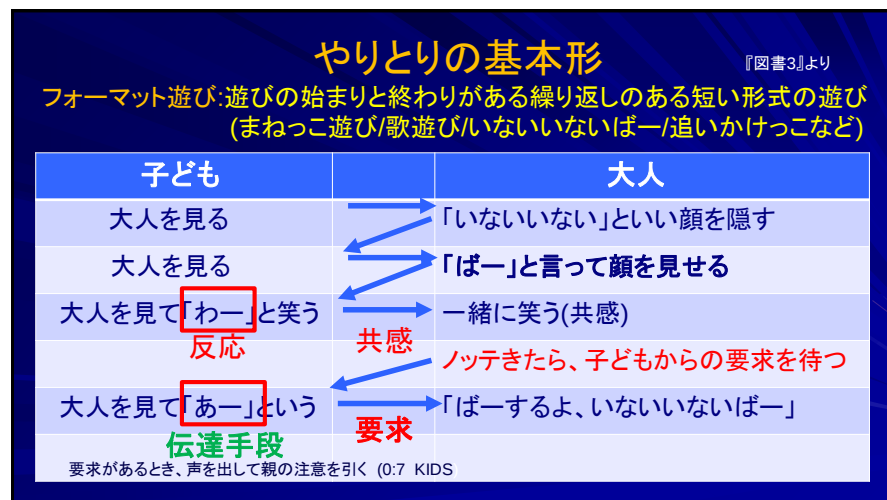
感覚⇒具体的操作(出す・入れる・積むなど)⇒ふり⇒みたて・ごっこ

二項関係でしっかり遊びこむ



20

19



21

発達遅滞 + 話しことば獲得

当初はことばの遅れがあった

⇒ 発達遅滞群のまま、話しことばが出始める
⇒ 知的発達↑し、ことばはよくしゃべる

22

ことばは出てきたけど・・・

■ 理解面

象徴世界の乏しさ
みたく・ごっこ遊びの弱さ 広がり弱さ
語彙の広がり弱さ、偏り
上位概念形成の弱さ
ワーキングメモリ (記憶するのが苦手)

■ 発語面

発音が不明瞭 (語音認知の弱さ)
会話になりづらい
質問一応答が難しい オーム返し
疑問詞の意味がわからない

ままごと場面

子ども: けえー。(けーき)

先生: ケーキ。ほんと ケーキがあったねえー。
(リフレクティング)

おいしそうなケーキ。
(エクспанション)

○○くんと先生、二人で (手を合わせてみせ)
いただきます。
(モデリング)

(口元に運んであげ) ○○くんがパクッ。
モグモグモグ。あーおいしい。(パラレルトーク)

(自分の口元にあて) △△先生もパクッ。
あーおいしい。
(セルフトーク)

23

実況中継的なやりとりでOK!

ままごと場面

子ども: けえー。(けーき)

先生: ケーキ。ほんと ケーキがあったねえー。
(リフレクティング)

おいしそうなケーキ。
(エクспанション)

○○くんと先生、二人で (手を合わせてみせ)
いただきます。
(モデリング)

(口元に運んであげ) ○○くんがパクッ。
モグモグモグ。あーおいしい。(パラレルトーク)

(自分の口元にあて) △△先生もパクッ。
あーおいしい。
(セルフトーク)

24

語彙を増やすことばかけの工夫

(わかりにくい表現)

<よく使うことば>

「これ合っている？」
「そこにおいといて」
「そろそろ終ろう」
「靴、ちゃんとしなさい」
「このお山を折ります」

<わかりやすい言い方>

「ここは答えが違うよ」
「テレビの前においといて」
「あと1回したら終わろう」
「靴をそろえて」
「このとがったところを角といいます
角を折ります」

「しゃきっとしなさい」

「背中を伸ばします」

こどもの理解できるレベルの
ことばがけをしていきましょう

25

内容の意味理解を助ける

・ことばの意味を説明する

例) ここにサインしていうけど、ここにお名前を書くことだよ

・質問の難易度を下げる

易しい ・「はい／いいえ」で答えられる質問
↓
難しい ・選択枝の中から答えを選ぶ質問
・答えが限定される質問(いつ・どこで・誰と)
・答えが限定されない質問(どうだった、何した)

・わからないと思われること・気持ち・対応方法などを解説する

例) ○○ちゃんが、何か言ったけど 聞こえなかったね
⇒「○○ちゃん、もう一回言って」って聞いてみよう

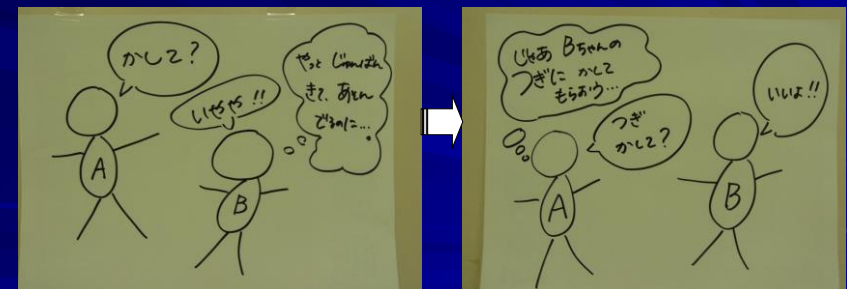
26

話しことばの獲得は年齢相応

知識や理解は良好
質的な弱さ 偏り
発達特性 社会性の弱さ

27

コミック会話 コミュニケーションの支援



28

最後に

- しっかり聞く練習する、正しく話せる練習をさせるのではなく
「自分で聞いてわかった」「話したことが伝わった」「わかってもらえた」という経験を通して、こどもが「わかった、伝わった」という手ごたえが実感できることが重要と思います。
- 大人側のコミュニケーションの質を高め、反応的にかかわることで人との関わりの楽しさを体験させ、コミュニケーション意欲を高めましょう。
- アセスメントは大切です。子どもの弱さだけでなく、良い点も必ず見る
- 保育・療育者は、一人で悩まず、一緒に考えて支えてくれる仲間づくりを。
- 子どもは「わかる、できることは頑張れる」もの
子どもに「わかった、できた、伝わった」と思える工夫や支援をしていきましょう。

29

大人のフィードバック項目

①基本姿勢

(大人は子どもに反応的に
かかわっていますか)

- 子どものリズムに合わせていますか
- 子どもの開始を待っていますか
- 子どものすることをよく見えていますか
- 子どものことばに耳を傾けていますか
- 子どもの意図や気持ちをよく理解していますか

②子どもとの遊び

(大人は子どもと遊びを共有し、
楽しんでいますか)

- 子どもと同じ遊びをしていますか
- 子どもとの遊びを楽しんでいますか
- 子どもが考えられるように、待っていますか
- 子どもの遊びが発展できるようなモデルを示していますか

チェックリストとして、各項目で「はい」「いいえ」で確認してみましょう

『図書3』より

30

③ことばかけ

(子どものレベルに合ったことばかけをしていますか)

- 指示的(命令・禁止)なことばかけが多過ぎませんか
- 子どもが答えにくい質問をしていますか
- ことばが多過ぎませんか
- 早口で聞き取りにくいということはありませんか
- 子どもにわかりやすい内容ですか
- 子どもを認めることばかけをしていますか
- 子どものことばを拡充(意味や文法)して返していますか

④ことばの周辺

(楽しそうな雰囲気を提供していますか)

- 表情豊かに、楽しそうにかかわっていますか
- ジェスチャーや指差しを使って、ことばの理解を助けていますか
- 声は大きすぎませんか(威圧感を与えていませんか)
- 声は小さすぎませんか(伝わりにくいというようなことはありませんか)

『図書3』より

31

引用・参考文献

- 図書1:「1・2・3歳 ことばの遅い子 ことばを育てる暮らしのヒント」
中川信子著 ぶどう社
- 図書2:「0歳～6歳子どもの発達と保育の本」監修・執筆 河原紀子他 学研
- 図書3:「実践インリアル・アプローチ事例集 豊かなコミュニケーションのために」
監修:竹田契一 里見恵子他 日本文化科学社
- 図書4:「近藤直子 講演会講義資料より」近藤直子氏に使用許諾済
参考文献「こどものかわいさに出会う 乳幼児期の発達基礎講座」著:近藤直子
クリエイツかもがわ
- 図書5:「ことばの発達と障害3 ことばの障害の評価と指導」大石敬子編
大修館書店
- 図書6:地域療育システム支援事業研修会「保育における特別支援」講師:秋元壽江氏
講義資料より 秋元壽江氏に使用許諾済
参考文献「保育における特別支援」竹田契一・里見恵子・秋元壽江編 日本文化科学社

32

ご清聴有難うございました

アンケートのお願い



URL
<https://logoform.jp/f/0WuHR>

33

34

先生のための相談支援
こどもに寄り添う支援方法を一緒に考えます!!

図での困りごとや事業所での支援に関するお悩みなど、発達が気になるお子さんに対する理解や支援方法について理学療法士と作業療法士と一緒に考えサポートします！対象は児童発達支援事業所、発達支援教室、保育園、幼稚園、こども園などで働かれている職員の皆様です。

なぜこんな行動をするんだろう…
いつもやってる活動ってこれでいいのかな…
発達を促す遊びってどんなことがいいのかな…
姿勢や運動について専門家に聞いてみたいな…

無料相談 受付中！
オンライン または 電話 40分（要予約）
お申し込みはこちらから

岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター
地域療育システム支援事業

岐阜県 地域療育

35

支援者向け
無料 訪問支援

リハビリスタッフが児童発達支援事業所、発達支援教室、保育園、認定こども園、幼稚園などに訪問して、お子さんの発達の見立てや生活支援のサポートを行います。当センターでリハビリを行っているお子さんが対象の場合は、担当療法士の情報提供も行います。当センターを利用していないお子さんが対象の場合でも、訪問支援の利用は可能です。

利用の流れ

申し込み
フォーム または TEL(058-201-0087)

日程調整
当方よりお電話してスケジュール調整いたします

書類提出
申込書と保護者同意書、支援計画書等を提出

訪問支援
リハビリスタッフが施設へ訪問して、発達の見立てや特性の理解、困りごとの解決など支援方法についてサポートいたします

お申し込みはこちらから

岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター
地域療育システム支援事業

岐阜県 地域療育

36


岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター
 地域療育システム支援事業

出前研修

無料

対象

- 児童発達支援事業所
- 市町の発達支援教室
- 放課後等デイサービス事業所
- 小学校 など

内容

- 運動発達について
- 感覚・遊びについて
- コミュニケーションについて
- 活動内容や支援方法について
- ケース検討 など

理学療法士や作業療法士、言語聴覚士が運動発達やコミュニケーション、発達が気になるお子さんへの支援方法や活動の組み立て方等、実技を交えた講義やケース検討会などを行うことができます。



お申し込みはこちら



地域療育システム支援事業のホームページからも申し込み可能です
 岐阜県 地域療育


岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター
 地域療育システム支援事業

見学研修

無料

対象

- 児童発達支援事業所の保育士・幼稚園教諭・指導員・看護師
- 小児リハビリテーションに関わる療法士 など

内容

- リハビリ見学 (PT・OT・ST)
- 児童発達支援 (肢体不自由児・重心) の活動見学
- 講義 (発達障がい児への基本的な関わり方、姿勢・運動など)
- 遊具体験 など

肢体不自由児や発達が気になるお子さんに対する支援力向上を目指して、リハビリの様子や児童発達支援センターを見学することができます。



スケジュール例

時間	予定	内容
9:00	オリエンテーション	当センターの概要説明など
9:30	講義	発達が気になるお子さんへの関わり方
10:30	発達支援の活動見学	児童発達支援センターでの保育活動の見学
11:30	質疑応答	見学内容について
12:00	休憩	
13:00	遊具体験	感覚統合や粗大運動遊具など
14:20	リハビリ見学	PT・OT・ST見学
16:00	質疑応答	見学内容について
16:30	終了	アンケート記入

お申し込みはこちら



地域療育システム支援事業のホームページからも申し込み可能です
 岐阜県 地域療育

夜間やスケジュール(平日・1日など)はご希望に応じて調整可能!!